

■ 建物概要

新潟みずほ園は、障がいのある方が安心して暮らせる環境を整えるため、鉄筋コンクリート造一部2階建ての施設として整備されました。

地域における福祉の拠点として、安全性と機能性を兼ね備えた建物となっています。

■ 基本情報

所在地：新潟県新潟市西区藤野木51

用途：障害者支援施設

構造：鉄筋コンクリート造

階数：地上一部2階建

■ 面積

敷地面積：14,262.43㎡

建築面積：2,478.70㎡

延床面積：2,670.04㎡

■ 工事・設計

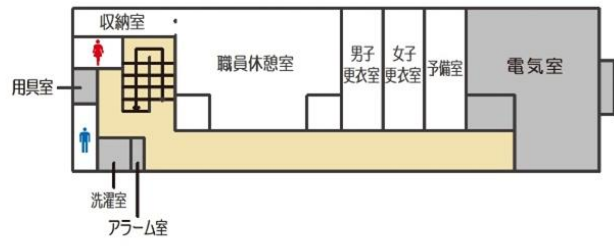
工事名称：新潟みずほ園改築工事

工期：2025年3月31日～2026年3月20日

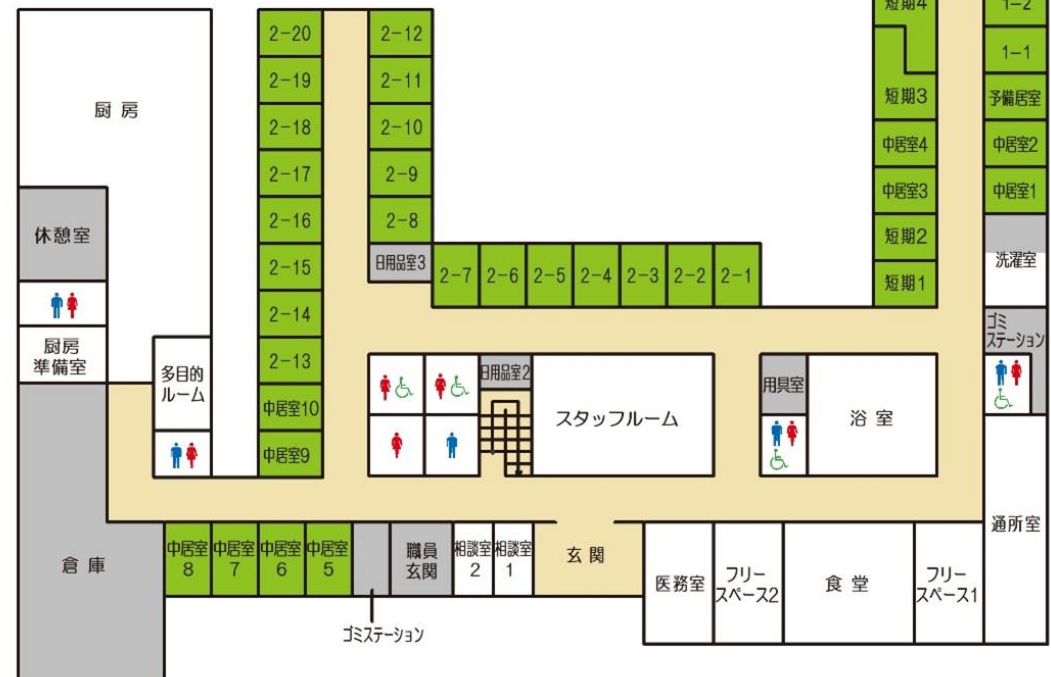
設計・監理：株式会社 堤建築設計事務所

施工：株式会社 本間組

2F



1F



利用者居室

～安心と快適さを支える完全個室空間～

利用者の居室はすべて完全個室としており、一人ひとりの生活リズムやプライバシーが守られる環境を整えています。明るく落ち着いた空間とすることで、安心して自分らしく過ごすことができます。

各居室には無線ナースコールシステムや見守り支援システムを導入しており、必要なときにすぐ職員へつながる体制を整えています。これにより、安全性を確保しながらも、過度な介入を避けた見守りが可能となっています。

また、移乗支援機器（天井走行リフト）や介護ベッドを設置することで、利用者の身体状況に応じた安全で負担の少ない支援を実現しています。職員にとっても身体的負担の軽減につながり、継続的で質の高い支援を支えています。



ナースコールシステム

【ジーコム (株) ココヘルパシステム】

利用者居室にナースコールシステムを導入し、利用者さんのプライバシーを確保しながら、安全に配慮した見守りを実現しています。

呼び出し情報は職員へリアルタイムに通知され、状況に応じた迅速な対応が可能です。

また、呼び出しの内容や頻度を可視化することで、緊急性や優先順位の判断がしやすくなり、職員の業務負担軽減にもつながっています。

【製品詳細】

[ココヘルパVP 製品ページはこちら](#)



暗視機能搭載!



巡回した履歴も残る!

種別	開始時刻	終了時刻	エリア	部屋	入居者	ユーザ	備考
エラー	2020/06/01 11:59:01		1F	101	渡辺美由	大森支部	エラーコード00020001
応答	2020/06/01 11:58:43	2020/06/01 11:58:46	1F	102	川西優次	大森支部	
応答	2020/06/01 11:58:37	2020/06/01 11:58:40	1F	101	真田美紀	大森支部	
応答	2020/06/01 10:43:15	2020/06/01 10:43:35	1F	101	真田美紀	大森支部	
応答	2020/06/01 10:42:45	2020/06/01 10:43:01	1F	101	真田美紀	大森支部	
情報	2020/06/01 10:42:07	2020/06/01 10:42:42	1F	102	川西優次	大森支部	
情報	2020/06/01 10:24:45		1F	107	藤田千子	大森支部	録音見守りセンター
情報	2020/06/01 10:22:33		1F	112	中野伸博	大森支部	録音見守りセンター
情報	2020/06/01 10:22:18		1F	112	宮本真美	大森支部	録音見守りセンター

見守り支援システム

【(株) バイオシルバー「aams / アームス」】

居室内に設置したマット型センサーにより、利用者さんの状態を24時間見守り、安心・安全な生活を支援します。

株式会社バイオシルバーが提供する「aams (アームス)」は、心拍・呼吸・体動・離床・睡眠状態を離れた場所から把握でき、異変時にはリアルタイムで職員へ通知されます。

訪室の合間も状態を把握できるため、必要なタイミングでの対応が可能となり、巡回負担の軽減とプライバシーに配慮した支援を実現しています。

【製品詳細】

[aams 製品ページはこちら](#)



天井走行リフト（移乗支援機器）

【グルドマン社製〈アビリティーズケアネット（株）〉】

天井に設置されたレールとリフト本体を使用し、利用者の移乗を安全に行う福祉機器です。

居室では車いすからベッドへの移乗、浴室では車いすから入浴用ストレッチャーへの移乗に使用し、それぞれの場面に応じた安全な介助を実現しています。

スリングシートで身体を支えることで持ち上げ動作が不要となり、利用者さんの安心感の向上と、職員の身体的負担の軽減につながっています。

【製品詳細】

[天井走行リフト 設置型レール 製品ページはこちら](#)

[天井走行リフト グルドマン GH1,GH1Q 製品ページはこちら](#)



ベッド設備

【(株)プラッツ】

アーデルは、背上げ・脚上げ・高さ調整の3モーターを搭載し、利用者一人ひとりの身体状況に応じた細やかな姿勢調整が可能なポジショニングベッドです。

安楽な体位を保持することで身体への負担軽減を図り、褥瘡予防や生活の質の向上につながるとともに、食事や離床などの日常動作をスムーズにし、介助時の職員の身体的負担軽減にも寄与します。

【製品詳細】

[介護施設用電動ベッド アーデル製品ページはこちら](#)



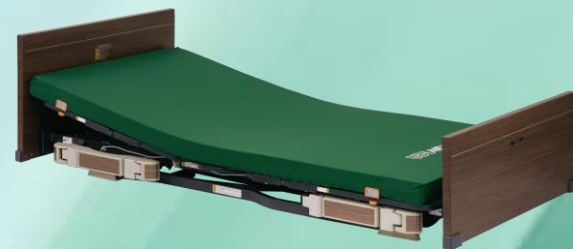
ラフィオは、基本的な3モーター機能を備えながら、超低床まで高さを下げることができる安全性に優れたベッドです。

万が一の転落時にも衝撃を抑えることで事故リスクの低減につながり、転落リスクの高い利用者にも安心して使用できます。

また、見守りや巡視時の職員の心理的負担軽減にもつながり、安全で安心できるケア環境の構築に寄与します。

【製品詳細】

[超低床介護用ベッドラフィオ（介護施設用）製品ページはこちら](#)



浴室

浴室は、同性介助に配慮しながらも安心して利用できるよう、仕切りの工夫によりプライバシーを確保した設計としています。

天井走行リフトを各所に設置することで、利用者にとって安楽で安全な移乗介助を実現するとともに、職員の身体的負担軽減にもつながっています。

また、障害特性や身体状況に応じて複数の入浴方法に対応できるよう設備を整え、複数パターンの入浴支援を同時に行うことが可能です。

これにより、一人ひとりに適した入浴支援と効率的な運用の両立を図っています。

さらに、浴室は施設の中心に配置し、導線を考慮した移動しやすい設計としています。

内装や照明には落ち着いた雰囲気を取り入れ、木目調の素材や暖簾を活用することで、利用者が安心して過ごせる温かみのある空間づくりを行っています。



介護用入浴機器

【オージー技研（株）】

仰臥位入浴
搬送、移乗、入浴介助がラクにでき、自然な寝たまま姿勢での快適入浴を可能にした介護
用入浴機器

【製品詳細】

[ジュスト](#)



シャワー浴（ミスト浴）

心身の負担を抑え、幅広い方が安心して利用できるシャワー（ミスト）浴

【製品詳細】

[セレーノ](#)

ADL入浴

多様な入浴方法に対応し、直接入浴も搬送車入浴も安全に実施

【製品詳細】

[テヌート](#)



2階スペース（職員環境）

～安心して働き続けられるための環境づくり～

2階には、職員が現場から一度離れて心身をリフレッシュできる休憩スペースを設けています。

広々とした空間に加え、カーテン付きの小上がりやキッチン、テラスを配置することで、職員同士のコミュニケーションを取りやすい環境でありながら、個々のプライベート空間も確保しています。

これにより、気分転換や適度な距離感を保った休憩が可能となり、働き続けやすい環境づくりにつながっています。

男女それぞれに仮眠室を設けており、夜勤時にも安心して休息を取れる環境を整えています。

さらに、男女別の更衣室にはシャワールームを完備し、感染症対策や衛生管理の徹底に加え、夜勤明けにシャワーを浴びて身支度を整えるなど、職員の生活面にも配慮した設計としています。

また、職員専用の洗濯機・乾燥機を設置し、ユニフォーム等を施設内で管理できる体制を整えることで、外部への持ち出しを防ぎ、より安全で衛生的な環境を実現しています。加えて予備室を設けており、実習生の控室や会議室としても活用できるなど、状況に応じた柔軟な運用が可能です。



厨房設備

【ホシザキ北信越（株）ニュークックチルシステム】
～安全・効率・持続可能性を見据えた食事提供～

当施設の厨房では、調理後に急速冷却し、チルド状態で保存・管理する「ニュークックチルシステム」を導入しています。

調理済みの食事は専用機器により適切な温度で保存され、提供のタイミングに合わせて再加熱を行うことで、衛生的で安定した食事提供を可能としています。

また、当法人では厨房職員を直接雇用しておらず、調理業務は委託業者へ委ねる体制をとっています（管理栄養士は職員として在籍）。

その中で、今後さらに人材不足が見込まれる状況を踏まえ、委託業者にとっても運用しやすく、効率的に業務を行える環境を整えることが重要と考え、本システムを採用しました。

チルド状態での保管・運搬により作業工程の分散と効率化が可能となり、業務負担の軽減と品質の均一化を実現しています。

さらに、再加熱カートの活用により、適温での提供が可能となり、利用者にとっても安心でおいしい食事環境を整えています。

【製品詳細】

ニュークックチル



食堂スペース

～多様なニーズに対応する柔軟な空間設計～

食堂は、利用者の障害特性や過ごし方に配慮し、空間を3分割できる可変性のある設計としています。

落ち着いて食事をしたい方のために空間を仕切ることができる一方で、スラディングウォールには一部ガラスを採用することで閉塞感を軽減し、職員の見守りや行き来のしやすさにも配慮しています。

また、内装や照明はあえて落ち着いたトーンで統一し、安心して過ごせる環境を整えています。

必要に応じてすべての仕切りを開放することで、イベントや法人全体の会議、行事などにも活用できる広い空間として運用が可能です。

さらに、スペースの一部は訓練室としての活用も想定しており、日常の食事の場にとどまらず、多様な目的に対応できる柔軟な空間となっています。



通所室（生活介護）

～個別性と継続支援を支える環境づくり～

通所室は、生活介護で通所される利用者が日中を安心して過ごせる居室として整備しています。

ベッドは3台設置しており、カーテンによる仕切りに加え、最奥のベッドスペースはアコーディオンカーテンで区画できる構造とすることで、同性介助への配慮や、音・光・においなど外部刺激を軽減したプライベート空間の確保が可能です。

また、個別ブースを2か所設けており、障害特性に応じて外部からの刺激を受けにくい落ち着いた環境の中で、利用者が自分のペースで活動できるよう配慮しています。

さらに、通所室には専用の出入り口を設けており、施設内で感染症が発生した場合でも、他のエリアを通らずに出入りが可能な動線としています。

これにより、従来は感染症流行時に制限せざるを得なかった通所利用についても、可能な限り継続できる体制づくりを目指しています。



多目的室

～多様な用途に対応する柔軟な空間～

多目的室は、施設内のさまざまなニーズに対応できる柔軟な空間として整備しています。

出張理美容や出張歯科診療といった専門サービスの受け入れをはじめ、会議や研修、レクリエーションなど、多様な用途に応じて活用することが可能です。

用途に応じて空間の使い方を变えることで、日常的な支援から外部サービスの受け入れ、職員の研修や家族との面会まで、幅広い場面に対応できる環境を整えています。

これにより、施設内で完結できるサービスの幅が広がり、利用者・職員それぞれにとって利便性の高い運用が可能となっています。



相談室

～安心して話せる環境と柔軟な空間設計～

相談室は2部屋設けており、スライディングウォールによって区切ること、それぞれ独立した空間としても、広い1室としても利用できる可変性のある設計としています。

スライディングウォールには防音性能を備えており、相談内容のプライバシーをしっかりと保護できる環境を整えています。

また、相談だけでなく、会議や研修など多目的に活用することも可能です。

内装は会議室のような堅さを感じさせない、やさしく落ち着いた雰囲気とすることで、利用者やご家族が安心して話しやすい空間づくりを意識しています。



業者用動線・バックヤード設計

～衛生・安全・効率を高める裏動線～

施設内にはゴミステーションを3カ所設け、すべて建物内に配置しています。

これにより、ゴミを施設内の生活空間を極力通らずに廃棄できる動線とし、衛生面と安全性に配慮しています。

ゴミステーションは、建物内から職員が搬入する入口と、外部から収集業者が出入りする入口を分けた構造としており、業者は数字式ボタンキーにより解錠し、スムーズに回収作業を行うことが可能です。

従来は屋外にゴミ置き場があったため、施設内を通過して運搬する必要があり、また雨天や降雪時には職員の負担となっていました。建物内配置と動線分離によりこれらの課題を解消しています。

また、リネン類のリース業者、給食食材の搬入業者、おむつ等の物品業者については、専用の搬入口を設けています。

トラックを横付けし、搬入先ごとのインターホンで連絡を行い、職員が遠隔で解錠する仕組みとすることで、セキュリティを確保しながら効率的な搬入を実現しています。

さらに、おむつやリネン類は入口横に倉庫を配置しており、搬入から保管までの導線を最短化しています。



福祉対応トイレ（条例対応）

～誰もが安心して使える環境整備～

施設内には、障害のある方にも使いやすいトイレを各所に設置していますが、そのうち1カ所については、新潟県福祉のまちづくり条例に基づいた仕様のトイレとして整備しています。

このトイレは、車いす利用者や身体機能に制限のある方でも安全かつ快適に利用できるよう、十分なスペースの確保や手すりの配置、動線への配慮など、基準に沿った設計としています。

加えて、オストメイト対応設備やおむつ交換台も設置しており、さまざまなニーズに対応できる環境を整えています。

利用者に限らず、ご家族や地域の方など、どなたでも安心して利用できる環境となっており、開かれた施設づくりにつながっています。



クリーンブース

～排泄支援と衛生管理を支える機能空間～

クリーンブースは、男女それぞれの居室棟におけるトイレの背面に配置しており、排泄支援を行う際の動線に配慮した設計としています。

トイレと隣接することで、移動距離を最小限に抑え、利用者・職員双方の負担軽減とスムーズな介助を実現しています。

ブース内には、おむつ交換カートの保管スペースを確保しているほか、ベッドパンウォッシャーを設置しています。

ベッドパンウォッシャーは、差込便器や尿器などの排泄用具を、自動で洗浄・消毒まで行う機器で、手作業による洗浄の負担軽減と、感染症リスクの低減につながります。

ボタン操作や足元スイッチで使用できるため、衛生面にも配慮された設備となっています。

これにより、排泄物の処理から洗浄・消毒までを一連の流れで行うことが可能となり、清潔環境を維持しながら効率的なケアの提供につなげています。

【製品詳細】

[ベッドパンウォッシャー（サラヤ（株））](#)



医務室

～迅速な対応と連携を支える配置設計～

医務室は施設の中央に配置することで、各エリアへのアクセスがしやすく、体調不良時や緊急時にも迅速に対応できる環境としています。

職員室とも近接しているため、日常的な情報共有や連携が取りやすく、スムーズな支援体制を構築しています。

また、収納スペースを充実させることで、医療物品や衛生用品を整理・管理しやすくし、必要な物品をすぐに取り出せる環境を整えています。

さらに、食堂や浴室への動線も確保しており、服薬や食事に関する対応、入浴時の処置や健康管理など、各場面に応じた医療的支援が行いやすい設計としています。

内装は明るく落ち着いた雰囲気とし、利用者が安心して過ごせるとともに、職員にとっても働きやすい空間づくりを意識しています。



スタッフルーム

～オープンな環境とICTで支える支援と連携～

職員室は玄関前に配置されており、来訪者をカウンター越しにお出迎えできる開かれた設計となっています。

また、もう一方向もガラス張りのカウンターとすることで、利用者が気軽に職員へ声をかけやすい、オープンで親しみやすい空間となっています。

施設内の空調や電気（照明）、各玄関の施錠・開錠は職員室で一括管理しており、利用者の居室一つひとつにも対応可能です。

これにより、個々の状態や好みに応じた環境調整ができ、快適で安心できる生活環境を支えています。

さらに、見守り機器や通信機器を活用することで、職員室にしながら利用者の生活状況を把握し、必要に応じた支援や職員間の迅速な連携が可能となっています。

また、ペーパーレス化を推進しており、張り紙や紙での決裁を行わず、データ上での情報共有・電子決済を実施しています。これにより、視覚的にも整理された、すっきりと働きやすい職場環境を整えています。



Wi-Fi環境・ICT基盤

～すべての支援と業務を支えるネットワーク～

法人内のデータは新潟みずほ園のサーバー室で一元管理しており、安全かつ安定した運用体制を構築しています。

施設内にはWi-Fi環境を整備し、職員はPC・iPad・スマートフォン（2種）を活用して、利用者支援から各種業務までを一体的に行っています。

支援記録の入力や情報共有をはじめ、ナースコールやインターホン対応、各種センサー機器や介護ロボットとの連携、防犯カメラの映像確認、内線外線の受発信・インカムなど、さまざまな機能がネットワークを通じて連動しています。

これにより、場所にとらわれない柔軟な対応と、迅速で正確な情報把握が可能となっています。

また、データはリアルタイムで共有・管理されるため、職員間の連携がスムーズになり、支援の質向上と業務効率化の両立を実現しています。

